

2種類の地域ケア会議で個別・地域課題の解決へ(京都市向日市)



- ① 地区別地域ケア会議 : 警察・医療・介護従事者・行政機関・家族・民生委員等が、個別困難ケース等についてケア方針の検討を行う。(実務担当者を対象に8名程度参加)
- ② 地域包括ケア会議 : 警察・保健・医療・介護・福祉・民生委員・ボランティア・介護者の会などの高齢者を見守るあらゆるフォーマル、インフォーマルの関係機関が、①地区別地域ケア会議で発見された地域課題について具体的に話し合い、ネットワーク化する。(向日市全域の実務責任者を対象に50名程度が参加)

① 地区別地域ケア会議



② 地域包括ケア会議



ネットワークを具体化

認知症徘徊SOSネットワーク

警察・医師会・歯科医師会・保健所・民生委員・商工会・自治会・町内会・社協・介護者の会・老人クラブ・介護事業所・ボランティア・地域サポーター・キャラバンメイト・阪急電鉄・JR西日本・タクシー・その他商店、地域住民等が協力し、SOSネットワークとして稼働している。



地域包括ケアシステムの実現